

第3回 全体研修会



第3回 全体研修会の報告

令和7年2月18日
(火)由布市ほのぼのプラザ市民交流室にて、令和6年度第3回全体研修会を開催致しました。

今回のテーマは「高齢者の権利擁護・虐待防止」として、大分県社会福祉士会・虐待防止委員会 吉賀亮二先生に登壇していただき、事例を交えた講義を行って頂きました。

特に感じたこと
吉賀先生より「高齢者虐待対応に従事する者(介護支援専門員)は、権利侵害の程度により自己決定を尊重で



今年度より、介護サービスマン所では、高齢者虐待防止の推進が義務化されました。高齢者虐待は家庭でも施設でも起こり得るもので、正しい情報や知識を身に付けておくことが重要です。

吉賀先生より、事例を交えた実体験や大分県で起こった虐待の事件、更には資料を用いて、憲法における基本的人権の尊重、高齢者虐待防止法、虐待の分類等、改めて学習することが多くありました。

高齢者が住み慣れた地域で尊厳のある生活を維持していく為に、現に起きている虐待を早期に発見・解消させ、安全で安心な環境の下での生活を構築し、高齢者の権利擁護を実現させることを目的として、我々、介護支援専門員も、利用者に関わりを持つ中で、意識して業務遂行に勤しむことが重要であると感じました。

吉賀先生、大変、貴重な時間となりました。ありがとうございました。

check! LINE 公式アカウント

由布市介護支援専門員協会のLINE公式アカウントが出来ました。まだ登録されていない方は、是非友だち追加をお願いします！

右のQRコードから登録画面に移動出来ます。もし上手くいかない場合には、お手数ですが友だち検索画面にて、右に記載しておりますアカウントIDをご入力ください。

研修の案内や講師依頼等の情報を随時配信していきます。どうぞよろしくお願い致します。確認のため、登録後にコメントかスタンプをお願いします。

<アカウントID>
@544wlpss



友だち追加はこちらから！

花粉対策 について

花粉症は、花粉が原因で引き起こされるアレルギー反応の一種です。特に春になると、花粉が空気中に飛散し、それを吸い込むことで鼻水、くしゃみ、目のかゆみ、のどの痛みなどの症状が現れます。

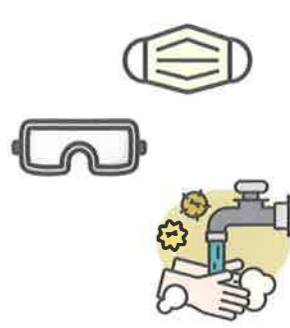
日本人のアレルギー性鼻炎の有病率は年々増加し、この20年で1.5倍の40%、花粉症は約2.5倍の39%にも。まさに国民病と言われています。



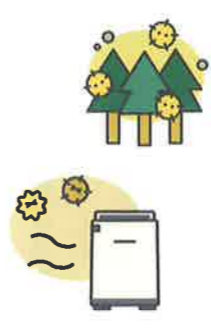
花粉症

【生活の留意点】

1 外出の際は、マスクや帽子、眼鏡(ゴーグル)などを着用する。帰宅したら、手洗い、うがい、目や顔を洗いまししょう。



2 花粉は気温の高い午後によく飛ぶ傾向があります。家事は午前中に済ませる、布団や洗濯ものは外に干さない等、工夫しましょう。また、部屋はこまめに掃除しましょう。



3 つくような免疫力が健康づくり。心かげましよう。例えば、運動習慣を身に着ける等。



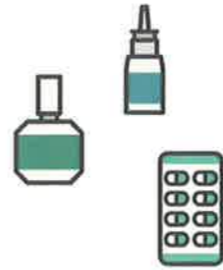
食事面では、香辛料などの刺激の強い食べ物は避けるようにしましょう。症状により、食欲が出なかったり、気分的にも憂鬱になりがちですが、一人で悩まず、それぞれの症状に合わせて、耳鼻科、眼科、皮膚科、内科などの専門医に相談して、少しでも楽にこの季節を乗り切るようにしましょう。



花粉症の症状がひどくなる前に、できるだけ早めに対策を取ることが大切です。

花粉症の症状を悪化させてしまう、生活の質(QOL)の低下が長引く方も多くいます。

花粉症は仕事や家事効率の低下のみならず、学力、成績、記憶力の低下を指摘する研究調査もあり、早期に治療し、重症化させないことが重要です。



お問い合わせ

〒879-5434 大分県由布市庄内町庄内原 838 番地 8 小規模多機能型居宅介護 玲音内:秋吉
TEL: 097-582-2121 FAX: 097-582-3848 MAIL: yufucity.cm@gmail.com
ホームページ: <http://yufucitycm.wixsite.com/45000>

由布市介護支援専門員協会広報部発行

『下市ふるさと会』で、「介護保険制度の正しい理解」と題して説明をさせていただきました。今回の講演を通じて、介護保険利用や施設入所を皆様意識されており、介護保険制度

今年度入会いただいた介護保険サービスセンター豊友館 大石英弘さんに令和7年1月15日下市ふるさと会（挟間）で講演を行っていただきました。新規会員としての紹介を兼ねて、感想を伺いました。

その中のひとつ「健康応援団」1月・2月の活動分を報告します。

由布市健康応援団 派遣事業



当協会では由布市等から依頼を受けて様々な活動に参加しています。



に対する関心の強さを実感しました。参加者の皆様はとも熱心に話を聞いてくださり、多くの質問をいただきました。特に、「デイサービスはどうすれば通えるのか」、「高齢者施設への入居をするにはどれくらいの費用が必要か」など、介護サービス利用に対する関心が高かったように感じました。

また、講演後には「理解するには制度が複雑で難しい」といった声をいただいた一方で、「実際に介護保

大石さん、山本さん、お忙しいところ、ご協力いただきありがとうございます。来年度の依頼につきましては、随時公式LINE等で発信していきますので、ご興味がある方、ご協力いただける方は、事務局まで連絡いただくと助かります。よろしくお願致します。

令和7年度 由布市介護支援専門員協会 役員立候補についてのお願い

次年度は役員改正年度となっております。つきましては、正会員の皆様で立候補したい方、推薦したい方を募っています。一緒に協会運営に参加くださる方のご応募をお待ちしております。



令和6年度 由布市介護支援専門員協会 「適切なケアマネジメント手法（基本ケア）」を活用した『模擬』サービス担当者会議 見学学習会

（共催）大分県介護支援専門員・由布市介護支援専門員協会 △協力：株式会社日本総合研究所（対象）：由布市介護支援専門員協会会員、由布市介護保険サービス事業所）

令和7年1月11日（土）14時～
 ●会場：ごとう医院通所リハビリテーション
 ●居宅・包括における「適切なケアマネジメント手法」を活用した『模擬』サービス担当者会議
 ■令和7年1月25日（土）14時～
 ●会場：由布市由布川地域交流センター
 ●施設における「適切なケアマネジメント手法」を活用した『模擬』サービス担当者会議



令和7年1月11日、1月25日に「適切なケアマネジメント手法（基本ケア）」を活用した『模擬』サービス担当者会議 見学学習会を開催しました。まずは講義で「適切なケアマネジメント手法」「基本ケア」について学び、「適切なケアマネジメント手法」を活用したサービス担当者会議についての説明がありました。見学学習会の後半では、『模擬』サービス担当者会議を行いました。

参加された皆さんのご意見

・模擬事例を拝見し、適ケアを利用することで焦点を絞って議論できる、ケアマネジャーの得意でない分野について検討する際にも的確な議論が可能になると感じました。

・適切なケアマネジメント手法を活用することが意義のある多職種連携につながると感じた。介護支援専門員が一人で抱えるのではなく、多職種連携で活きた情報を得ることができる。最終的に利用者の望む生活（暮らし）の実現、利用者の意思決定支援の尊重につながるのではないかと感じた。

・デモの内容を見学したかぎりでは、担当者会議に活用できる自信はないです。この場に本人、家族がいた場合に同じ様な話が出るのか疑問に思いました。

「適切なケアマネジメント手法」を実務に活用できるように、今後も、由布市介護支援専門員協会会員の皆様、由布市介護サービス事業所の皆様と一緒に「適切なケアマネジメント手法」を学んでいきたいと思っております。よろしくお願いたします。

